

令和3年度 西多摩地域保健医療協議会  
「地域医療システム化推進部会」  
会議録

- 1 開催方法 書面開催  
※ 令和4年2月21日に委員宛てに資料を送付し、意見書の提出をもって出席とした。
- 2 西多摩地域保健医療協議会「地域医療システム化推進部会」委員

役 職 名	氏 名	備 考
一般社団法人西多摩医師会会長	玉 木 一 弘	
一般社団法人東京都西多摩歯科医師会会長	加 藤 裕 正	
一般社団法人西多摩薬剤師会会長	田 中 三 広	
青梅市立総合病院院長	大 友 建 一 郎	
公立福生病院院長	松 山 健	
公立阿伎留医療センター院長	荒 川 泰 行	
西多摩地域脳卒中医療連携検討会座長 (医療法人財団利定会大久野病院院長)	進 藤 晃	
西多摩地域糖尿病医療連携検討会座長 (野本医院院長)	野 本 正 嗣	
公募委員	秋 間 利 郎	
東京都訪問看護ステーション協会青梅支部長 (訪問看護ステーションあん所長)	雀 田 和 代	
国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部上席主任研究官	種 田 憲 一 郎	
東京消防庁青梅消防署長	下 村 秀 毅	
青梅市健康福祉部長	増 田 博 司	
福生市福祉保健部参事	瀬 谷 次 子	
奥多摩町福祉保健課長	菊 池 良	
西多摩保健所長	播 磨 あかね	

(敬称略)

### 3 欠席委員

なし

### 4 議事

- (1) 部会長互選
- (2) 西多摩保健医療圏地域保健医療推進プランの進捗状況について
- (3) 脳卒中医療連携推進事業及び糖尿病医療連携推進事業について

### 5 報告事項

- (1) 西多摩保健所医療安全支援センターの取組について
- (2) 西多摩保健所歯科保健推進事業について
- (3) 新型コロナウイルス感染症への対応について

### 6 意見の取りまとめについて

意見書は、「意見なし／事務局に一任」又は意見を記載していただく形式としており、全ての委員から意見書の提出があり、議事は承認された。

なお、意見取りまとめ結果は別紙のとおりである。

令和3年度 西多摩地域保健医療協議会「地域医療システム化推進部会」 御意見取りまとめ

提出委員	御意見	事務局回答
<b>【(1) 部会長互選】</b>		
全委員	異議なし	
事務局まとめ	異議がございませんでしたので、原案どおり「青梅市立総合病院院長 大友建一郎」委員を部会長に選任いたします。	
<b>【(2) 西多摩保健医療圏地域保健医療推進プランの進捗状況について】</b>		
種田委員	<p>1-3 在宅療養体制</p> <p>地域医療構想調整会議が開催された回数だけの記載があるが、取組み状況の記載もなく、何が議論されているのかが不明です。地域医療構想は本システム推進部会に関わる重要な項目ではないでしょうか。</p>	<p>東京都地域医療構想調整会議については、構想区域ごとに設置されており、地域の医療の状況や医療機能の確保について協議しています。</p> <p>調整会議の会議録や会議資料は福祉保健局医療政策部のホームページで公開しているため、進捗管理資料への記載は割愛させていただきました。御指摘いただきました、地域医療構想調整会議の取組み状況の共有等につきましては、工夫、検討してまいります。</p> <p>貴重な御意見ありがとうございました。</p>
種田委員	<p>1-4 医療安全対策</p> <p>相談件数の大幅減少の原因として、受診控えが推測されていますが、どの程度、受診控えが起きているのかを示して頂けますでしょうか。住民の声が届けられなくなっていることも懸念されます。相談・苦情の内容や相談区分の内訳などについても、経年変化を分析してはいかがでしょうか。</p> <p>また、コロナ禍で医療機関における医療安全のリスクは高まり、インシデント等も増えているようです。研修会・連絡会等をオンラインで実施するなど、感染状況が落ち着いている時期に、むしろ積極的に実施すべきと考えます。</p> <p>コロナ禍で実施されている医療機関の立入調査は、何か工夫などしているのでしょうか。</p>	<p>相談件数の減少について、患者の声相談窓口にいただく御相談で「今まで受診を控えていた」等のお声もあることから、受診控えがその背景にあるのではないかと推測しておりますが、受診控えについて具体的な統計値を取っているものではございません。</p> <p>御意見いただきましたことを踏まえ、今後の分析方法についても工夫、検討してまいります。</p> <p>また、研修会・連絡会につきまして、今年度は保健所全体をあげて感染症対応に注力するため中止といたしましたが、来年度以降は感染状況を見ながら開催方法を検討し、時機を捉えて開催してまいりたいと考えております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症流行下におきましても、医療機関開設時や構造設備変更時等には立入検査を行い、医療安全の観点から助言指導を行っております。感染症流行下であることを踏まえ、患者の声相談窓口へ寄せられる御意見を例示する等、必要に応じ感染対策についても合わせて助言を行っております。</p>
玉木委員	<p>1-5 歯科保健医療対策</p> <p>市町村の介護予防・日常生活支援総合事業で咀嚼・嚥下機能、低栄養、フレイルを一元的に評価支援する枠組みを、できれば広域行政圏として一体的に推進、普及していただきたい。</p>	<p>圏域の各市町村、医療機関及び関連団体と情報交換、情報共有を図り、協働して検討して参ります。多職種での連携が必要なことが想定されますので、引き続き御協力をよろしくお願い申し上げます。</p>

提出委員	御意見	事務局回答
玉木委員	<p>4 災害保健医療対策の推進  災害時要配慮者、特に嚥下機能低下者の低栄養予防に配慮した保存食の備蓄を市町村に促していただきたい。  西多摩圏域 J M A T 研修等修了者（現在120名程度）で避難所を巡回する「医療・介護・福祉支援多職種チーム」を結成し、包括的災害時保健活動を支える体制作りが望ましいと考えます。</p>	<p>貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。  災害時においては市町村による要配慮者への支援体制が整備されているところですが、いただいた御意見を踏まえて具体的な支援内容についても市町村に情報提供を行い、取組への協力をお願いしていききたいと思います。  また、避難所を巡回する「医療・介護・福祉支援多職種チーム」の結成等包括的災害時保健活動を支える体制作りについて、当圏域における避難所支援の現状と課題を関係機関と共有し西多摩圏域に見合った対策が講じられるよう努めてまいります。</p>
玉木委員	<p>5 地域保健医療福祉における人材育成  2014年来の医療介護総合確保推進法を踏まえ、高齢者病床・介護施設が多い西多摩圏域の民間事業者に於ける近年の主要課題は、外国人看護・介護職の受け入れと育成にあった。現在、コロナ禍での停滞は否めないが、今後の重要課題でもありその分野の学生や教育関係者も積極的に研修対象とされてはどうか。</p>	<p>貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。  御指摘の課題については、いただいた御意見を踏まえ、会議等の場を活用し市町村などの関係機関と情報共有し、実状に応じた対策が行われるよう努めてまいります。</p>
種田委員	<p>5 地域保健医療福祉における人材育成  実施された研修の対象者や内容による内訳を教えてください。医学生等の実習生の受け入れ状況についても、具体的な人数なども教えてください。</p>	<p>令和2年度の人材育成に関する実績等は次のとおりです。  ・研修及び健康教育（感染症や栄養・健康増進等の分野別に実施）  28回実施 参加人員延1,705人  ・市町村支援研修（西多摩圏域新任保健師研修）  1回実施 参加人員11人  ・実習生指導  保健師学生 学生人員 8人  管理栄養士学生 学生人員19人  ※医師の臨床研修の受入はありませんでした。</p>
事務局まとめ	<p>貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。いただいた御意見は、今後の事業実施の参考にさせていただきます。</p>	
<p><b>【(3) 脳卒中医療連携推進事業及び糖尿病医療連携推進事業について】</b></p>		
玉木委員	<p>生活習慣・高脂血症・高血圧・糖尿病・脳卒中・認知症・CKD等が切り離せない相互関連リスク因子であることを啓発し、その予防・地域対応に資するため、包括的テーマでの住民アプローチを市町村每だけでなく、広域行政圏、医療圏としての視点からもさらに取り組んでいただきたい。</p>	<p>相互に関連する健康課題については、各市町村においても住民への普及啓発の取組を進めていただいておりますが、脳卒中医療連携推進事業及び糖尿病医療連携推進事業においても、市民公開講座の開催などを通じて普及啓発に取り組んでいるところで、今後も各事業の実施を通じ、広い視点から取組を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き御協力をお願いいたします。</p>

提出委員	御意見	事務局回答
種田委員	<p>脳卒中医療連携推進事業</p> <p>資料4は印刷方法が異なるため細かい文字が読みにくいです。とくに有用な情報が記載されているページ6から8にかけて。印刷方法を変更するか、別途、A3サイズ用の紙に印刷するなどの工夫はできないでしょうか。</p> <p>ページ9から13にかけて記載されている進捗状況について、できるだけ具体的な数値でも示して頂けますでしょうか。</p>	<p>資料の印刷方法につきまして、御指摘いただきましたことを踏まえ、今後はA3サイズの用紙に印刷するなど、読みやすい資料提供に留意してまいります。</p> <p>また、進捗状況の分析につきましては、御意見いただきましたことを踏まえ、今後はより具体的にお示しをさせていただけるよう検討してまいります。</p>
種田委員	<p>糖尿病医療連携推進事業</p> <p>コロナ禍でもWEB開催するなど、積極的に取り組まれていることは素晴らしいです。「予定」とされていた検討会などが、その後、実際に開催されたのか、参加状況なども含めて教えてください。</p>	<p>開催予定としていた主な事業について、令和4年3月14日現在の開催状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討会 第4回 3月10日開催（出席者14名）</li> <li>・ 多職種向け糖尿病セミナー 3月17日開催予定</li> <li>・ 糖尿病合併症を理解するための勉強会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①講演：循環器専門医 12月15日開催</li> <li>②講演：眼科専門医 1月27日開催</li> <li>③講演：歯科医師 2月16日開催</li> </ul> </li> </ul> <p>なお、市民公開講座及び糖尿病腎症重症化予防講演会については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、今年度は中止とし、来年度の開催に向け準備してまいります。</p>
事務局まとめ	いただいた御意見は、今後の事業実施の参考にさせていただきます。	
<b>【その他御意見】</b>		
大友委員	コロナ対応で御多忙な中を御苦勞様です。	ありがとうございます。 地域の関係機関の皆様の御理解、御協力にも心より感謝申し上げます。
松山委員	御多忙な中ありがとうございます。	ありがとうございます。 地域の関係機関の皆様の御理解、御協力にも心より感謝申し上げます。
種田委員	<p>資料3-2</p> <p>第1節（健康危機管理対策）及び第2節（感染症対策）は、現在のコロナ禍における感染対策等も考慮すると、本システム化推進部会の担当項目とすべきではないでしょうか。また、関連して、医療・介護連携も重要性が増していますが、これについても検討すべき項目としてはいかがでしょうか。</p>	<p>貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>いただいた御意見を踏まえて、今後検討させていただきます。</p>

提出委員	御意見	事務局回答
種田委員	<p>資料8-1  上記にも関連しますが、「医療機能分担の推進」として、複数のアンケートを実施されたようで、その結果概要についても教えてください。コロナ禍で保健所職員の皆さまの業務負担が増えていることと思います。そのような状況の中、平時の業務も行われていること素晴らしいです。感謝申し上げます。</p>	<p>保健所職員への温かな御意見をいただきまして、ありがとうございます。  新型コロナウイルス感染症に関して全所体制で対応に当たっておりますが、今後もいただいた御意見を励みにし務めてまいります。  さて、西多摩圏域での取組として、これまでに西多摩地区病院会及び西多摩医師会によるアンケートを実施いたしました。  概要も含めて結果の公表は予定しておりませんが、令和3年度はアンケート結果から得られた内容を踏まえて西多摩圏域における新型コロナウイルス感染症対策に活用しております。</p>
秋間委員	<p>年明け早々より新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い対応に追われる職員の方々の苦勞に感謝申し上げます。  今後は永続的な感染防止対策として、一人ひとりが日常習慣に定着する基本的な防止マニュアルの施策も必要ではないか。</p>	<p>ありがとうございます。  地域の関係機関の皆様の御理解、御協力にも心より感謝申し上げます。  また、日常生活における圏域住民の皆様の感染拡大防止に関する取組への御協力にも合わせて感謝申し上げます。  新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためには、一人ひとりがそれぞれの日常生活において、「新しい生活様式」を実践していくことが必要です。専門家会議の提言を受け、厚生労働省では「新しい生活様式」として「一人ひとりの基本的感染対策」、「日常生活を営む上での基本的な生活様式」や「働き方の新しいスタイル」などを提案しています。  西多摩保健所においては、今後も引き続き広報誌「ほけんじょだより」やホームページ等を活用し、新型コロナウイルス感染症に関する情報提供や様々な保健衛生情報を提供してまいります。</p>
瀬谷委員	<p>お忙しい中、情報提供、意見取りまとめ等いつもありがとうございます。少なくとも年1回は顔を合わせた会議ができるといいのですが、この状況が続くのか分かりませんがWEBでの会議も有効かなと思います。</p>	<p>御意見ありがとうございます。  今年度はWEB併用形式での開催に向けて準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、保健所全体で感染症対応に注力するため書面開催とさせていただきます。来年度以降につきましても、感染状況を見ながら開催方法を検討してまいります。</p>